

## 膵頭十二指腸切除術における術後感染症対策及びドレーン管理に関する検討

### 研究の概要：

膵頭十二指腸切除術は、術後合併症の危険を伴う高難度かつ侵襲の高い手術であるとされています。手術手技の確立や周術期管理の進歩によって安全性は高まってきておりますが、手術部位感染症を含めた合併症の発生に関しては依然として高いことが指摘されており、術後感染症対策を講じることが重要です。国立がん研究センター東病院では術後感染症対策として予防的抗菌薬の種類や投与期間、ドレーン(手術時に腹部に留置する管)の抜去に関する指標などについて検討を重ねていますが、現状の術後感染症対策やドレーン管理についての評価を行うべきであると考えられます。本研究において術後感染症対策ドレーン管理についての評価を行うことが、今後の膵頭十二指腸切除における周術期管理の改善や進歩の一助となる可能性があると考えられ、本研究を計画しました。

### 研究の目的と意義：

本研究の目的は、膵頭十二指腸切除術における術後感染症対策やドレーン管理と手術部位感染症発生について検討することです。この研究を行うことは今後の膵頭十二指腸切除術における周術期管理の改善や進歩に繋がる可能性があります。

### 研究対象：

国立がん研究センター東病院において 2010 年 1 月から 2015 年 3 月までに膵頭十二指腸切除術を施行した 279 名の患者さんを対象とします。

### 研究の方法および内容：

国立がん研究センター東病院肝胆膵外科の診療録データベースを利用して、膵頭十二指腸切除術を施行した患者さんの診療録を選択し、診療情報(背景、手術時情報、術後経過等)を収集します。抽出したデータを用いて解析を行い、膵頭十二指腸切除術における術後感染症対策やドレーン管理と手術部位感染症発生について検討します。情報収集の作業に当たっては医師がこれを行います。

### 個人情報保護に関する配慮：

人体から採取された試料ではなく、診療録を主とした既存資料を研究に用います。閲覧する診療録には個人情報が含まれますが、患者さん個人が特定されない方法で情報を収集します。対象となる患者さんの識別は本研究専用で別途割り振られた研究番号を使って管理し、個人情報が院外に出ることはありません。患者さんからのご希望があれば、その方の診療録は研究に利用しないようにしますので、いつでも次の連絡先まで申し出てください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉6-5-1

国立がん研究センター東病院 肝胆膵外科 北口和彦・後藤田直人(研究責任者)

FAX 04-7131-9960 / TEL 04-7133-1111

E-mail : [kkitaguc@east.ncc.go.jp](mailto:kkitaguc@east.ncc.go.jp) もしくは [ngotohda@east.ncc.go.jp](mailto:ngotohda@east.ncc.go.jp)